

## 授業科目

## カウンセリング論

担当教員名 原口 彩子	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	◎	○

## 授業の概要

専門家として相談面接を行う際に身につけておきたい基礎的な理論、心構え、態度を講義形式で学ぶ。教科書の内容を現実感をもって理解するために、事例をできるだけ多く紹介していく。毎回の授業の最後にリアクションペーパーを書き、次の授業の冒頭にそれらの内容についての解説・質問への回答を聴くことによって、重層的に理解をしていく形式をとる。

## 授業の目的

ソーシャル・ワーカーは、心の相談のための面接(広義のカウンセリング)を適切に行う必要がある。この授業ではそのために、面接法についての理解を深め、カウンセリングの基本を習得することを目的としている。具体的には心の相談を受ける際の基本的態度や技法を理解し、来談者の訴えを「分かること」や究極の問いを「受け止めること」の難しさと重要性を胸に刻むことにより、実際に支援者として面接を実践する心構えができることを目指す。

## 学習目標

1. ソーシャルワーカーがカウンセリングを「学ぶこと」の意義を説明できる。
2. カウンセリングの目的やカウンセラーの倫理について説明できる。
3. 面接者の基本的態度やカウンセリングの基本的技法について説明できる。
4. カウンセリングの構成要素について説明できる。
5. カウンセリングの展開と面接者の役割について説明できる。
6. カウンセリングの理論と実践とのバランス関係について理解し、面接法の研鑽方法を説明できる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ソーシャルワークとカウンセリング・カウンセリングを学ぶ意味	講義	原口 彩子
2	カウンセリングとは何か	講義	原口 彩子
3	面接者の倫理	講義	原口 彩子
4	カウンセリングの実際(1) 初回面接と面接のゴール	講義	原口 彩子
5	カウンセリングの実際(2) 面接で得られる情報	講義	原口 彩子
6	カウンセリングの構成要素(1) 聴くこと	講義	原口 彩子
7	カウンセリングの構成要素(2) 見ること	講義	原口 彩子
8	カウンセリングの構成要素(3) 対等な出会い	講義とワーク(色鉛筆を数本持参すること)	原口 彩子
9	カウンセリングの構成要素(4) 専門的關係・面接の二重構造	講義	原口 彩子
10	カウンセリングの展開(1) 訴えを「分かること」	講義	原口 彩子
11	カウンセリングの展開(2) 究極の問いを「受け止めること」	講義	原口 彩子
12	カウンセリングの理論と実践	講義	原口 彩子
13	ケース・レポートを書くこと	講義	原口 彩子
14	まとめ(ロール・プレイングの観察)	講義と観察	原口 彩子
15	まとめ(ロール・プレイングに対する着目点とレポートの書き方)	講義と観察	原口 彩子

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	面接法(追補版)	熊倉伸宏	新興医学出版	2003年	1,500円+税	
参考書						
その他の資料						

### 評価方法

学期末のレポート50%、毎回のリアクションペーパーの内容50%

### 履修上の留意点

この授業は、3年次前期に開講する「カウンセリング技法」につながるものである。「カウンセリング技法」の受講を希望する人、及び精神保健福祉士受験資格の取得を希望する人は、しっかり学んでおくことが望ましい。

### オフィスアワー・連絡先

原口研究室：E棟3階・E-311

オフィスアワー：毎週火曜日 午後3時以降

連絡先：haraguchi@nuhw.ac.jp